

健康スポーツライフ杉並プラン(杉並区スポーツ推進計画 令和4年度(2022年度)～令和12年度(2030年度))(案)の修正について

No	頁	項目	計画面	修正内容(修正は下線部)	修正理由
第1章 計画の基本的な事項					
1	1	1 計画改定の趣旨	(以下、本計画という)	(以下「本計画という」。)	表記を統一するための修正
2	1	1 計画改定の趣旨	(以下、「アンケート調査」という。)	(以下「アンケート調査という」。)	表記を統一するための修正
3	2	2 スポーツの捉え方と意義	●(2) スポーツの意義 障害の有無に関わらず、	障害の有無にかかわらず、	表記を統一するための修正
第2章 計画の取組状況と課題					
4	5	1 子ども(18歳未満)を対象とした取組	●(2) 今後の課題 (以下、「体力等調査」という)	(以下「体力等調査」という。)	表記を統一するための修正
5	10	2 大人(18歳以上)を対象とした取組	<p>○これらの「アンケート調査」の結果に基づくスポーツ・運動の行動タイプ別の特徴や傾向から、今後の課題は下表のとおりとなります。</p> <p>無関心タイプ</p> <p>特徴 ・自身が「健康ではない」と思っており、障害のある人、寝たきりの人が多い。 ・地域行事やボランティア活動等の社会参加活動を、特に行っていない人が多い。 ・スポーツを行わなかった理由が、「年をとった、好きでない、体が弱い」という人が多い。 ・スポーツを行う理由に、「家族のふれあい」を挙げ、家族と行う人が多い。 ・80歳以上の人が顕著に多い。</p> <p>傾向 スポーツが好きではないが、家族とのふれあいのためにスポーツをすることがある。また、障害や高齢が理由で、スポーツにハードルを感じている。</p> <p>課題 スポーツへの関心を持つきっかけづくりと、障害者の自主的なスポーツ活動の推進に向けた取組が必要。</p> <p>実行間近タイプ</p> <p>特徴 ・運動不足を感じており、健康維持増進のためにスポーツを行いたい、仕事や新型コロナウイルス感染症から実施できておらず、スポーツができる時間数や、場所、費用に不満を感じている人が多い。 ・スポーツを一緒にする相手として仲間・友人が少なく、家族が多い。 ・自分の好きなスポーツクラブ、同好会があれば加入したいと思っている人が多い。 ・女性が多い。同居家族に、小学生以下の子どもがいる人が多い。</p> <p>傾向 運動不足や健康の維持増進のためにスポーツを行いたい、仕事や感染症等の影響から実施できていない。スポーツをするための時間や場所、費用すべてに不満を感じている。子育て世代が多い。</p> <p>課題 実行につながるよう、身近で気軽に参加できるスポーツの機会の充実と、特に子育て世代がスポーツに触れることができるよう配慮した取組が必要。</p> <p>ときどきタイプ</p> <p>特徴 ・スポーツを楽しみや気晴らしで行い、一緒にする仲間や、誘ってくれる仲間が多い。 ・スポーツについて、「家族や友人とのコミュニケーションが深まる」、「新たな人とのつながりが生まれる」など、肯定的に感じている人が多い。 ・新型コロナウイルス感染症拡大前と比べて、家族と過ごす時間や趣味を楽しむ時間が増えた人が多い。 ・男性が多い。正社員・正規職員が多い。</p> <p>傾向 仲間・友人や職場の人々と楽しみや気晴らし、交流を目的にスポーツを行っている。ファン活動をする人や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じてスポーツへの関心が高まった人など、多様な楽しみ方を享受している人が含まれている。正社員・正規職員を中心とした勤労者が多い。</p> <p>課題 地域において継続的にスポーツができるよう、多様な機会を充実させるとともに、勤労者が活動しやすい時間帯などに配慮した取組が必要。</p> <p>継続タイプ</p> <p>特徴 ・健康維持増進のためにスポーツを心がけている人が多く、新型コロナウイルス感染症拡大により、意図的に行うようになった人が多い。 ・スポーツが人生にとって大切と思っている人や、自分なりの楽しみ方を知っている人が多い。 ・「人にアドバイスや指導をしている、仲間をスポーツに誘っている」人が多く、ボランティア活動として「スポーツ・運動の指導をしている人」の割合が多い。 ・60～79歳の割合が多い。</p> <p>傾向 健康維持増進のためにスポーツを積極的に行っている。スポーツをすることに周囲に理解者が多く、人を誘ったりアドバイスや指導をしたりしている。コロナ禍でも積極的にスポーツを継続しており、その価値を認めている。</p> <p>課題 杉並の地域力を生かし、人と人とのつながりを核とした豊かな地域づくりに向けた取組と、高齢世代が無理なくスポーツ・運動を継続できる支援の充実が必要。</p>	<p>スポーツ・運動の行動タイプ別の特徴と課題</p> <p>○「アンケート調査」の結果に基づき、それぞれのタイプが他のタイプに比べてどのような特徴があるのかを分析した結果と、それに対する課題をまとめました。</p> <p>無関心タイプ</p> <p>特徴 ・「健康ではない」と感じている人が多い。運動不足を感じている人が多い。 ・過去6か月の間にスポーツを行わなかった理由は、「スポーツ・運動が好きではないから」という人が多い。また、スポーツを行った理由は、「家族のふれあいとして」を挙げる人が多い。 ・小学生の頃、体を動かすことが嫌いだった人が多い。</p> <p>傾向 スポーツが好きではないが、運動不足を感じている。障害や高齢が理由で、スポーツにハードルを感じている。</p> <p>課題 スポーツへの関心を持つきっかけづくりと、障害者の自主的なスポーツ活動の推進に向けた取組が必要。</p> <p>実行間近タイプ</p> <p>特徴 ・運動不足を感じている人が多い。健康の維持増進のために、今後、スポーツや運動(体操や散歩を含む)をしたいと思っている人が多い。 ・自身がスポーツを行う状況について、時間数、場所、費用に不満を感じる人が多い。 ・自分の好きなスポーツクラブ、同好会があれば加入したいと思っている人が多い。</p> <p>傾向 健康の維持増進のためにスポーツを行いたいと思っている。スポーツをするための時間、場所、費用に不満を感じている。</p> <p>課題 実行につながるよう、身近で気軽に参加できるスポーツの機会の充実と、特に子育て世代がスポーツに触れることができるよう配慮した取組が必要。</p> <p>ときどきタイプ</p> <p>特徴 ・過去6か月の間にスポーツを行った理由は、「健康・体力づくりのため」「楽しみ、気晴らしとして」を挙げる人が多い。 ・主に誰とスポーツを行うかについて、「仲間・友人と」を挙げる人が多い。 ・ファンクラブ等に入るなど、積極的に応援しているスポーツチームや競技者・愛好者がいる(ある)人が多い。また、東京2020大会の開催を通じて、「スポーツを応援・観戦することへの関心が高まった(テレビ視聴を含む)」人が多い。</p> <p>傾向 健康・体力づくりや楽しみ、気晴らしとして、仲間や友人とスポーツを行っている。ファン活動をするなど、多様な楽しみ方を享受している人が含まれる。</p> <p>課題 地域において継続的にスポーツができるよう、多様な機会を充実させるとともに、勤労者が活動しやすい時間帯などに配慮した取組が必要。</p> <p>継続タイプ</p> <p>特徴 ・健康の維持増進のために「スポーツや運動(体操や散歩を含む)をする」「食生活に気をつける」「定期的に健康診断を受ける」を挙げる人が多い。 ・スポーツ・運動を行う理由は、健康・体力づくりのほか、美容や肥満解消、自己の記録や能力の向上など、多様である。 ・スポーツが人生にとって大切と思っている人や、自分なりの楽しみ方を知っている人が多い。「仲間をスポーツ・運動に誘っている」人が多い。</p> <p>傾向 スポーツや健康の維持増進のための行動を積極的に行っており、スポーツを行う理由は多様である。スポーツの価値を認めている。</p> <p>課題 杉並の地域力を生かし、人と人とのつながりを核とした豊かな地域づくりに向けた取組と、高齢世代が無理なくスポーツ・運動を継続できる支援の充実が必要。</p>	意見を踏まえ、より適切な記述に修正
6	11	2 大人(18歳以上)を対象とした取組	●(2) 今後の課題 障害の有無に関わらず、	障害の有無にかかわらず、	表記を統一するための修正
7	15	3 杉並らしさを生かした環境を整える取組	●(2) 今後の課題 また、感染症への不安から、地域のクラブなど人が集まる活動の停滞や、種目や年代によって活動機会への影響に格差が生じている状況に応じた支援が求められます。	また、感染症への不安から、地域のクラブなど人が集まる活動の停滞や、種目や年代によって活動機会への影響に格差が生じているため、状況に応じた支援が求められます。	適切な記述に修正
8	15	3 杉並らしさを生かした環境を整える取組	●(2) 今後の課題 図12のとおり、多くの人がテレビ等で観戦・応援しており、大会をきっかけに、様々な障害者スポーツやパラリンピック競技が認知されたことが分かります。	図12・13のとおり、多くの人がテレビ等で観戦・応援しており、大会をきっかけに、様々な障害者スポーツやパラリンピック競技が認知されたことが分かります。	適切な記述に修正
第3章 計画の体系と取組内容等					
9	18	1 計画の体系	●(2) スポーツに親しむことができる場の充実 ②施設のユニバーサルデザインの推進	②施設のユニバーサルデザインの推進	誤記による修正

No	頁	項目	計画案	修正内容(修正は下線部)	修正理由
10	21	2 取組方針1 子ども(18歳未満)のスポーツ・運動・遊びの推進	●(エ) 特別な支援を要する児童・生徒のスポーツ・運動の推進 区内の特別支援学級の連合行事である連合運動会を実施し、集団での活動を行いながら、子どもの発達に合わせたスポーツ・運動の経験を広げます。	区内の特別支援学級の <u>体育の授業などにおいて、児童・生徒の発育・発達に適した体力づくりに取り組むとともに、近隣校での交流を行うなど、児童・生徒のスポーツ・運動を推進します。</u>	適切な記述に修正
11	21	2 取組方針1 子ども(18歳未満)のスポーツ・運動・遊びの推進	●(イ) 新たな中学校運動部活動支援事業の推進 モデル事業(令和5年3月まで)を区立高円寺学園において実施する。	モデル事業(令和5年3月まで)を区立高円寺学園において実施 <u>しま</u> す。	表記を統一するための修正
12	27	3 取組方針2 大人(18歳以上)のスポーツ・運動の推進	●Ⅲ【ときどきタイプへ】継続しよう!多様なスタイルで 区民・団体等の成果発表となる区民体育祭等の開催を通じて、スポーツの継続を支援します。	区民・団体等が日頃の練習の成果を実感し、 <u>また発表の場となる区民体育祭等の開催を通じて、スポーツの継続を支援します。</u>	意見を踏まえ、より適切な記述に修正
13	28	3 取組方針2 大人(18歳以上)のスポーツ・運動の推進	●(ア) 区民体育祭、スポーツ・レクリエーション大会の開催 日頃から各種のスポーツを行っている区民・団体等の成果発表と、交流の場となる区民体育祭、スポーツ・レクリエーション大会を年1回開催します。	区民・団体等が日頃の練習の成果を実感し、 <u>また交流や発表を行う場として、区民体育祭、スポーツ・レクリエーション大会を年1回開催します。</u>	意見を踏まえ、より適切な記述に修正
14	31	4 取組方針3 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり	障害の有無や年齢等に関わらず、	障害の有無や年齢等にかかわらず、	表記を統一するための修正
15	33	4 取組方針3 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり	② 施設のユニバーサルデザインの推進 ●(ア) 施設のユニバーサルデザインの推進 ソフトとハードの両面から一体的にバリアフリーを進めることで、障害の有無にかかわらず、多様な人々が利用しやすい施設のユニバーサルデザイン(※)を推進します。	② 施設のユニバーサルデザインの推進 ●(ア) 施設の <u>ユニバーサルデザインの推進</u> ソフトとハードの両面から一体的にバリアフリーを進めることで、障害の有無にかかわらず、多様な人々が利用しやすい施設のユニバーサルデザイン(※)を推進します。	誤記による修正
16	33	4 取組方針3 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり	●(イ) 障害当事者とともに進める誰もが使いやすいスポーツ施設づくり 障害者の不便さに気付き、それを無理なく解決するため、障害当事者、支援者、スポーツ施設職員等が対話型の意見交換を行い、施設利用に当たっての障害者への合理的配慮の提供の促進を図ります。	障害者の困りごと と に気付き、それを無理なく解決するため、障害当事者、支援者、スポーツ施設職員等が対話型の意見交換を行い、施設利用に当たっての障害者への合理的配慮の提供の促進を図ります。	適切な記述に修正